グローバル・リンク株式会社
代表取締役
富樫（とがし）　浩司（こうじ）

PROFILE

昭和 35 年 7 月、千葉県千葉市生まれ。
千葉工業大学で金属工学を学び、大手自動車メーカー、大手造船会社を経て、平成 23 年に当社を設立し現在に至る。

高い技術力に裏打ちされた発電事業で未来を変える

東日本大震災を機に発電＆蓄電会社を設立

弊社の設立は2011年4月18日。その1ヵ月前の3月11日に起きた東日本大震災がきっかけでした。

当時、私は大手ゼネコンと組んで太陽光発電と蓄電システムを研究していたのですが、被災地に近い高層マンションが停電し、水を供給するモーターやエレベーターが動かなくて大変なことになっていたので、助けを求められたんです。そこで、このグローバル・リンク（株）を作り、蓄電池と太陽光発電システムを提供しました。

その後、被災地の病院に太陽光発電機を寄贈したことでマスコミに大きく取り上げられ、これを機に注文が殺到。業績も一気に伸びました。

ただ、発電事業は太陽光だけでは先が見えていますので、地熱バイナリー発電、風力発電、さらに廃棄プラスチックを燃料として使う循環型ダブル発電もスタートさせました。

太陽光発電に続く画期的な新事業が始動

太陽光は電力の買い取り価格がどんどん下がっているので、別の再生可能エネルギーに移行したいと考える業者は多いと思います。しかし、正直なところ、それなりに高い技術力がなければ難しいでしょう。というのも、発電機の部品を作るメーカーがまだ揃っていないので、大部分を自社で開発しなければいけないからです。

特に、地下にある高温源泉や高圧蒸気を使う地熱発電は、環境破壊に繋がりかねませんので、周辺住民を納得させるだけのクリーンなシステムが必要になってきます。その点、弊社は同じ水蒸気を循環させるシステムなので水源が枯れる心配がない。現在、長野県の七味温泉で運営していますが、問題なく発電設備を導入できました。というのも、弊社のシステムが環境破壊にならないことを、地元の方々がきちんと理解してくれたからなんですね。

実は、この8月にもう一つの新しい発電事業を立ち上げます。それは「電磁ロータリー発電」といって永久磁石を使った発電技術なのですが、驚くほどコストパフォーマンスが高く、小規模でも展開できるという優れもの。既にこの技術を扱う業者は存在しますが、弊社はクオリティで勝負。他を大きく引き離す画期的な技術を導入しています。

発電事業と他分野とのコラボで盛り上げたい

私は車を運転する時によく考え事をするのですが、技術者出身だからか新技術のことばかり頭に浮かぶんです。もし会社が傾いたら、技術者を集めれば持ち直すと思いますね。皆が皆新しいもの好きなので、世の中にないものを作り、先行者利益を得られるでしょう。少なくとも、私自身は当たり前のことを当たり前と思わず、常に現状を変えようと考えています。先へ先へと突き進む姿勢こそが、会社を絶え間なく成長させるのではないでしょうか。

これからの展望としては、まず台湾で行政と組んで太陽光発電を推進します。

また、こちらは構想段階ですが、長野県などの寒冷地に温室を作り、パイナップルやマンゴーといった南国フルーツを生産できるようにしたいと考えています。漢方薬の原料になる付加価値の高い植物でもいいですね。もしくは、りんごやブドウを1年中収穫できるようにするとか。このように、発電で生じた熱をいろんな方面に運用したいと思います。そうやって日本の食糧自給率を上げていきたい。というのも、悪い薬品が付着しているかもしれない輸入食品に頼るのは怖いじゃないですか？　最近は、世の中全体が安全な食品なら高くても買うという風潮になってきているので、そこに商機があると見ています。

発電事業と他の分野をコラボさせ、環境ビジネス全体を盛り上げていきたいですね。

企業名：グローバル・リンク 株式会社
TSR 企業コード：90-210163-3
業種：太陽光発電＆蓄電システム、産業用太陽光発電システム、燃料電池、蓄光製品（避難誘導標識等）卸売
設立：平成 23 年 4 月
住所：〒 100-6512
東京都千代田区丸の内１－５－１　新丸ビル１２Ｆ
ＴＥＬ：03-6269-9660
WEB：http://globallink.co.jp/

TSRの眼　世の中にない物は自分達でつくり上げる。